



今日から1年生♪

旧中川小学校と統合し、賀茂地区最多の児童数となった松崎小学校に40人の1年生が入学しました。(4/6)

★★★ 地域の安全を守る ★★★
松崎町消防団
入団式



新団長に中村一夫氏

内田前消防団長の退任に伴い、新年度となった4月1日（木）、町長室にて、齋藤町長から中村団長に辞令交付が行われました。

新年度の体制整う

松崎町消防団の平成22年度入団式が4月1日（木）午後7時30分から環境改善センター文化ホールで挙行されました。

式では新役員や新、再入団員総勢87人の代表者に対し、中村団長から辞令書が手渡されました。また、新入団員を代表して第5分団第1小隊の渡邊武司団員が「命令や規則を守り、良心に従って、忠実に消防の義務を遂行することを誓います。」と力強く宣誓しました。

中村団長は「時代や地域のニーズに的確に対応し、あらゆる災害から町民の生命、身体、財産を守るといふ消防使命の遂行にあたり、町民の負託にこたえる消防団づくりに精進しよう。」と訓示し、防災体制の充実を呼びかけました。



宣誓する渡邊武司新入団員



後藤育正第5分団長が、日本消防協会会長表彰（精績章）を受章しました。

平成22年度 松崎町消防団役員名簿

本部	団長	副団長	山田宗太郎 山本謹吾	本部長	土屋宗三郎	人員
	中村一夫					12
分団	分団長	小隊	副分団長	管轄区域	人員	
					小隊	分団
1分団	浅井 眞 (西区)	1	端山智充	東・西・南・北・中	29	58
		2	松田英昭	宮内・伏倉	13	
		3	山地敏彦	道部	15	
2分団	山田 亘 (櫻田)	1	土屋善則	江奈1・2・3・4	20	34
		2	平野直人	櫻田	13	
3分団	渡邊和人 (船田)	1	山崎 諭	吉田・南郷・建久寺・那賀	12	38
		2	渡辺篤之	船田・門野	13	
		3	吉長政彦	峰輪	12	
4分団	鈴木辰也 (池代)	1	金子繁樹	大澤・明伏・小杉原	16	33
		2	鈴木真澄	池代	16	
5分団	後藤育正 (八木山)	1	稲葉宏樹	山口・指川・金沢	16	50
		2	大野雄一	野田・中村・松尾	12	
		3	岩谷秀人	峰	10	
		4	佐藤清久	八木山	11	
6分団	鈴木勝二 (雲見)	1	齊藤賀昭	岩地	13	40
		2	高橋浩一	石部	13	
		3	鈴木八十志	雲見	13	
合 計					265	
【問合せ】 総務課消防防災係 電話 42-3963 (直通)						

棚田サミット便り 第3号

第16回全国棚田(千枚田)サミット

分科会のテーマ決定

分科会について

棚田サミットでは、棚田の保全に向けて4つのテーマで分科会を開催します。これまでの研究や活動成果の発表、参加者の意見交換を通して、持続的な棚田保全体制について考えます。

町民の皆様も、ぜひともご参加ください。

●第1分科会

「棚田が甦る、ムラが輝く」
～人の輪が未来を築く～

全国各地で棚田保全活動が展開されていますが、新たな担い手確保などが共通した課題として挙げられています。

こうした共通課題について、静岡県内で実施されている保全活動事例を紹介しながら、棚田の持続可能な道を探り、将来世代に価値ある棚田として引き渡す手段を、参加者とともに話し合います。

●第2分科会

「棚田を支える、地域の自然・暮らし」～里山の宝探し～

棚田を中心とした里山の環境は、多様な生態系を生み出し、水源涵養や洪水防止などの多面的な機能により地域の暮らしを支えています。

棚田を含む里山環境の多面的機能について再認識し、自然と調和したこれからの暮らしについて話し合います。

●第3分科会

「棚田はキャンパス！」～みて・きいて・さわって～

棚田は、生物の宝庫であるとともに、地域の地質的成り立ちや歴史、文化を体感しながら学ぶことができる「自然のキャンパス」です。

現代の生活では触れる機会の少ない自然と人の暮らしが融合した環境を、将来世代の子どもたちにどのように伝え、残すことができるかを話し合います。

●第4分科会

「棚田を活かす、地域のネットワークづくり」～魅力ある田舎をデザインする～

棚田を、都市と農村の交流の場としてだけでなく、地域内の農工商業や観光業が連携し、ネットワークを構築することによって、賑わいをもたらすことができるように、これからの魅力ある「田舎づくり」を創造するための方法について話し合います。

広報用マグネットが できました！

棚田サミット実行委員会では、10月22日(金)・23日(土)に開催される棚田サミットや棚田保全について広報を行うため、県の「緑と水のふるさとづくり推進事業」を活用し、広報マグネットを作製しました。

デザインは、青々とした稲と水車小屋がすがすがしい初夏の棚田と、夕焼け空を水面に映す棚田の2種類で、4月から県と町の公用車等に設置し、走る広告塔として、サミットの開催をPRしています。

初夏の棚田版



夕焼けの棚田版



公用車に設置した広報マグネット

ボランティア募集

棚田サミットの事前準備から当日までで、都合のつく日にお手伝いをしていただける方を募集します。

2日間で1,000人以上の参加者が見込まれる今回のサミットでは、会場の設営や片付け・案内などで多くの人の協力が必要となります。

全国から訪れる方たちを、心を込めてお迎えするために、町民の皆様のご協力をお願いします。

今回のサミットを通じて、多くの皆様と交流していただき、松崎の魅力を発信して

きましょう。

お手伝いいただく内容は左記のとおりとなりますが、これら以外でもご協力いただけることがあれば、ご連絡をお待ちしています。

なお、ボランティアに登録いただいた方には、サミット開催までに説明会や研修会を開催させていただきます。

ボランティア募集要項

【期間】
10月20日(水)～23日(土)
(一日でも可)

【内容】
会場設営・片付け(松崎高校・松崎中学校・環境センターなど各会場)・受付・案内・駐車場誘導・料理の提供・棚田でのテント設営・現地案内・バス内でのガイドなど

【募集期間】
6月30日(水)まで

お問い合わせ、お申し込みは役場企画観光課(棚田サミット事務局)までお願いします。

多くの皆様のご協力をお願いいたします。

【問合せ】

企画観光課(42) 3964

松崎蔵づくり隊

「松崎夢の蔵」落成

松崎蔵づくり隊が、伊豆の長八美術館前に建築していた「松崎夢の蔵」が完成し、3月28日（日）に落成式が行われました。



落成式

松崎蔵づくり隊は、なまこ壁を町の財産として、保存活動を進めている団体で、平成21年の静岡県国民文化祭開催に合わせて平成20年9月より、2力年をかけ、70年ぶりとなる本格的ななまこ壁の土蔵づくりを行いました。

作業は毎月1〜2回、メンバーを中心に町内外のボランティアと左官職人が行い、材料も、古民家の瓦の再利用や岩科財産区の間伐材を活用するなど、多くの皆様より無償で資材の提供をいただきました。

また、建築過程は松崎高等学校美術部の皆様のスケッチにより、国民文化祭に絵本として発表されました。完成した土蔵は、なまこ壁建物実物説明やバスや人力車の待合場所など、多目的に活用されます。



松崎高校美術部が制作した絵本

建築工程



① 地鎮祭（平成20年9月6日）



② 木工事（平成20年9月〜）



③ 木舞かき（平成20年10月〜）



④ 荒壁塗り作業（平成20年11月〜）



⑤ 瓦張り作業（平成21年3月〜）



⑥ なまこ壁制作（21年4月〜）

①建築の安全を祈願して地鎮祭が行われました。②岩科財産区の所有林で間伐された木材を加工し、木工事が行われました。③土壁を塗る部分に竹をシュロ縄で編んだ木舞を組みました。④木舞を組んだ壁に藁と土を混ぜ発酵させたものを塗りつけました。⑤解体される古民家から譲りうけた瓦を土壁に貼り付けました。⑥約1年かけて下塗り、中塗り、上塗り作業を行いました。



蔵づくり隊代表 関賢助さん

町内各所にあるなまこ壁の建物も、現在では、建築の全過程を経験した職人は、誰もおらず、設計図もありません。今回の土蔵建築を通じて、必要な技術等を習得できたことは大きな成果となりました。また、多くの皆様に、なまこ壁に対する関心を持っていただいたことは、今後の保存活動につながるものと考えています。

【問合せ】
企画観光課（42） 3964

二十一世紀松崎町3つの実践運動について

松崎町では、青少年健全育成活動の一環として「あいさつ・返事・後しまつ」を合い言葉に、「二十一世紀松崎町3つの実践運動」を展開していきます。

この運動は、「学校・家庭・地域が連携し、子どもを育てるため、大人から実践すること」「大人も子どもも互いに関わり合いを深めること」という2つの視点で提案されたものです。

21年度末に小中学生を対象に実施したアンケートでは、別表①のような結果が出ました。昨年度に比べて数値が下がっている項目があることは反省点ですが、あいさつへの意識、家庭の意識の向上がみられました。

これからがんばりたいことでも、「あいさつ」と答えた割合が高く、特に、「地域の方や登下校中に会った方へのあいさつ」を意識している様子が伺えました。

また、家庭の意識について昨年度から大幅な変化がみられました。この項目について

は、保護者の皆様に返答して

いただいたことも影響しているかもしれませんが、「実践運動の有無に関わらず、当たり前のこととして話をしていく」といった答えが多く、日常的な話題になっていく様子が伝わってきました。

この運動を実践につなげるためには、学校・家庭・地域の連携が不可欠です。特に、地域の皆様におかれましては、登下校中の児童・生徒への声かけをお願いいたします。

今後も3つの実践運動を推進し、「明るくあいさつが溢れる町」を目指していきます。

別表① アンケート達成度(小中学生対象)

質問内容	21年度	20年度
実践運動を知っているか	88%	92%
あいさつでがんばっていることがある	77%	73%
返事でがんばっていることがある	53%	59%
後しまつでがんばっていることがある	49%	58%
家族で実践運動の話をしたことがある	35%	11%

【問合せ】

教育委員会(42) 3971

返事について

- ・授業中に発表するときには必ずはっきりします (松小1年)
- ・呼ばれたら「はい」と必ず言う (中小2年)
- ・ちゃんとはっきり大きな声で言う (松小3年)
- ・呼ばれたらすぐ返事をする (中小3年)
- ・相手に分かる声の大きさで返事をする (松小4年)
- ・明るく大きく返事をしている (中小4年)
- ・相手にわかるような大きな声で返事をする (松小5年)
- ・先生に呼ばれた時に必ず大きな声で返事をする (中小6年)
- ・聞こえる声(伝わる声)で返事をする (中学生)
- ・呼ばれたら必ず返事をする (中学生)

あいさつについて

- ・会った人には必ずあいさつをします (中小1年)
- ・だれにでもあいさつしている (松小1年)
- ・大きな声で人に聞こえるようにしている (中小2年)
- ・大きな声ではっきり誰にでもあいさつする (松小2年)
- ・自分から明るくあいさつをする (中小3年)
- ・相手より先にあいさつをする (松小4年)
- ・近所の人や道で会った人に大きな声であいさつをする (中小5年)
- ・通りかかった人に必ずあいさつをする (松小6年)
- ・地域の人に笑顔であいさつをする (中学生)
- ・相手の目や顔を見てあいさつをする (中学生)

児童・生徒の意見から

学年は、平成21年度のものです

これからがんばることについて

- ・すすんであいさつをします (松小1年)
- ・はっきり返事でがんばっていることがないからがんばる (中小2年)
- ・人に会ったらあいさつをする (松小3年)
- ・特にあいさつが大事なのでこれからもがんばりたい (中小4年)
- ・あいさつを今までと変わらず続けます (松小5年)
- ・後しまつがあまりできないので徹底的にやる (中小6年)
- ・今できていない後しまつをがんばりたいです (中学1年)
- ・できるだけ多くの地域の方にあいさつをしたいです (中学2年)
- ・今以上にあいさつを多くの人にできるようにする (中学3年)
- ・ロッカーと机の中の整とんをする (中学1年)

後しまつについて

- ・散らかしたらすぐに片づける (中小1年)
- ・使ったものを元の場所へ片づける (松小2年)
- ・机の中や身の回りの物を使ったらすぐに片づける (中小3年)
- ・自分の使ったものは自分で片づける (松小4年)
- ・責任をもって使ったものを片づける (中小5年)
- ・使ったものを元の場所に戻す (松小5年)
- ・次に使いやすいように元の所へ戻す (中小6年)
- ・片づけを言われる前にやる (松小6年)
- ・ごみの処理を注意する (中学生)
- ・きちんと掃除をする (中学生)

平成22年5月27日(予定)から

気象警報・注意報が

市町ごとに発表されます

静岡地方気象台は、平成22年5月27日(木)(予定)から、気象警報・注意報を、市町を対象として発表します。

例えば、松崎町に大雨による災害発生のおそれがある場合、現在は「伊豆南に大雨警報」と発表されていますが、今後は、「松崎町に大雨警報」と発表されます。

また、大雨警報が発表されるときは、特に警戒を必要とする「浸水害」、「土砂災害」、「浸水・土砂災害」のいずれかが明示されます。

この変更は、警戒を必要とする市町を特定し、お知らせすることにより、町民の皆様、防災活動を担う方々へ、防災行動を今以上に迅速、的確に結びつけられるよう改善されるもので、生命、身体、財産を災害から守ることを目的としています。

気象台から市町ごとに警報・注意報が発表されます

が、一番身近な情報入手源であるテレビ、ラジオでは、画面に表示できる文字数や読み上げ可能な文章の長さ

に制約があり、これまでどおり、「伊豆南に大雨警報」と放送される場合があります。

市町ごとの気象警報・注意報の詳細は、気象台のホームページに掲載されますので、ぜひご利用ください。

気象庁のホームページ
<http://www.jma.go.jp/>



5月27日から

現在の発表区域

【問合せ】
総務課(42) 3963

百歳のお祝い

菜野テル子さん(伏倉)

(明治43年4月13日生)

4月13日(火)、菜野さんの自宅を齋藤町長が訪問し、祝い金と記念品を贈呈して、100歳の誕生日をお祝いしました。

齋藤町長からお祝いの言葉を受けた菜野さんは、「長生きの秘訣は趣味で行っている縫物と、家族が大事にしてくれるから」と元気に話してくれました。



【問合せ】
健康福祉課(42) 3966

松崎文芸

俳句

せせらぎに馴れてしだるる柳かな
 川の面にふれんばかりの糸柳
 命あること有難き牡丹かな
 帰農せし二人に峡の風温し
 校章の外され惜春溢れくる
 花冷や足湯に並ぶ旅の客
 柳川の水路の柳今は夢
 古民家の屋敷神有り門柳
 汐の香の満ち来る川の青柳
 芽柳や歩け歩けは妻の指示
 そっと浮き芽柳まとふ緋鯉あり
 芽柳やすだれのような風通し
 橋の上旅人の描く糸柳
 三椏みつまたの花盛りなる売家かな
 糸柳三代続く路地の家
 閉校の池にゆるるや糸柳

山本武男
小林一男
稲葉文字
佐藤享
依田ふじ枝
稲葉菊恵
土屋規矩子
吉岡うた子
夏目和子
細矢金治
山本一詞
石田宏
鈴木すみ江
清水高子
松田美智子
斎藤みつ子

イベント・催し紹介

高通山つつじまつり

【日時】5月9日(日)
午前10時から
【場所】高通山(雲見)
【内容】山頂付近の山ツツジの見頃に合わせて、イベント会場にてところてん、しし汁やオリーブ茶の無料サービスが行われます。

岩地温泉大漁まつり

【日時】5月16日(日)
午前10時から
【場所】岩地海岸
【内容】カツオを使った岩地区の郷土料理であるニアイナマスや刺身、潮汁などが無料で振舞われます。

～ まちのできごと ～



3/27 第3回 花と浪漫の里 俳句大会

全国から俳句愛好家67人が参加し、1人2句を投句しました。最優秀賞となる町長賞は山本敏子さん（道部）が受賞しました。



4/3～4 第11回 伊豆松崎なまこ壁と桜のツーデーマーチ

天候にも恵まれ、町内外から2日間で延べ700人が、春の松崎町を満喫しました。



4/4 第26回中川三聖まつり

式典では、地元小学生による合唱や、依田佐二平文化賞表彰式が行われました。また、サービスコーナーも出店され、まつりを盛り上げました。



4/10 春の森づくり県民大作戦「きのこの山づくり」

牛原山で、伊豆南部から約30人が参加して、クヌギやコナラなどの原木にシイタケとナメコの菌打ち体験を行いました。

今春から、商工会関係者で組織する「松崎ブランド認定委員会」が発足し、町内で「地域性」「独自性」「地域素材・原材料へのこだわり」「伝統的技法・製法」などの基準を満たしている17商品が「松崎ブランド」として認定されました。

地域の産品を使ったこれらの商品をブランド化することは、地産地消の推進につながり、観光業や小売業だけでなく、第1次産業である農業、漁業も活性化され、地域全体が活性化される起爆剤となります。

また、地域ブランド形成には、地域の知名度アップも必要不可欠な材料となります。先日落成式が行われた「夢の蔵」のように、地域の方が主体となり、町の特色を町内外に広く宣伝できる活動ができればこんなにも心強いものは他にありません。

松崎ブランド創設に向けて

ん。

地域ブランドは、商店や行政だけで創設できるものではありません。

町民の皆様も、地域ブランド創設に向けて力を貸してください。

そして、これらの認定品を一度、ご賞味（ご利用）

してください。地域内で愛される商品として根付くことがブランドとなる近道になると私は考えます。地元商店の「がんばり」に皆様の応援をお願いします。

松崎町長

齋藤 文彦

町長室からこんにちは ⑤



認定証授与式

21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

町の人口と世帯

(平成22年3月31日現在)

()内は前月比

総人口	8,038人	(-41人)
男	3,806人	(-17人)
女	4,232人	(-24人)
世帯数	3,154戸	(-5戸)
転入	40人	転出 74人
出生	5人	死亡 12人

町の交通事故

平成22年3月31日現在

()内は前年同月比

人身事故	5件	(-1)
物損事故	17件	(+8)
死者	0人	(±0)
傷者	5人	(-1)

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
道部	宮内文子	91	正樹
岩地	高橋利夫	88	誠一
山口	渡邊千鶴子	85	昌平
石部	高橋仁左衛門	74	浩一
江奈2	依田ちどり	94	信男
八木山	加賀美智子	72	雄一
大澤	土屋千万	84	小林わか枝
八木山	土屋英一	61	たけ子
江奈2	関口きよ子	76	山本勲

戸籍だより (3月届出分)

おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
宮内	いろは葉	女	土屋智揮
櫻田	なみ南綺	女	齋藤孝規
道部	しょう翔	男	朝倉智弘
指川	こころ春	女	稲葉務
宮内	だいき輝	男	関太郎

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

保健師だより

若い人に「軽症うつ」が増えています

「うつ病」といえば、かつては、きちようめんで責任感が強く、問題を一人で抱えて頑張るような性格の人がなりやすいと言われてきました。

ところが、若い世代で増えている「軽症うつ」では、取り立てて、きちようめんでもなければ、がんばり屋さんでもない、責任感も人並み、といった人が目立ちます。

「軽症うつ」の症状として、最も多くみられるのは全身のだるさで、次に多いのは、夜中や早朝に何度も目が覚める睡眠障害です。

「うつ病」でも「軽症うつ」でも、早めに気づいて適切な治療をすることが大切です。「うつ」と診断されるのを恐れて受診が遅くなるほど、治療に時間がかかってしまいます。

そして、「うつ病」にならないためには、過度のストレスにさらされ続け心が疲れ切ってしまう前に、対策をとりましょう。心の「疲れ」には、「休養」と、十分な「睡眠」が重要です。「食事」をきちんと取り、定期的に「運動」することもストレス解消に役立ちます。

姉妹都市通信

帯広市から

帯広の森・はぐくむ

人間の子育ては何年かかるでしょう？

20年では、「まだまだ危なっかしくて」とおっしゃる親御さんも多いようですね。

では思い切つて、100年の子育てはいかがですか。

「帯広の森」は、帯広のまちをみどりで包みこむ森を百年かけて作る壮大な計画です。植樹が始まってから35年がたち、成長した樹木の間伐などの手入れが必要な時期を迎えています。

森は今が育ち盛りです。

「はぐくむ」は森作りの拠点施設として4月3日にオープンしました。

野鳥・樹木・草花などの観察会、間伐や散策路づくり、木工クラフトや木質ベレットづくり、パークゴルフや歩く

スキーなど、森の資源を生かした行事を開催します。

「はぐくむ」から車で数分の帯広の森運動公園には、昨年完成したばかりの「明治北海道十勝オーバル」をはじめ、たくさんのスポーツ施設があります。

松崎町の皆様をご存知の選手もトレーニングをしているかもしれません。

ここで汗を流すたくさんの方を、これからも見守っていただきます。



「はぐくむ」オープン記念式典